



図-10 追熟中果実への光照射と照射面のアントシアニン含量

注) t検定により*は5%水準で有意差があること、nsは有意差がないことを示す

左図のUV+赤色光は照射面、右図はUV+赤色光での比較

に比べ多い傾向であった(図-10)。

おわりに

以上のように、収穫後の果実をエチレン存在下で追熟することで着色やアントシアニン含量が大きく増加し、その増加程度は温度や熟度に影響を受けることが明らかとなった。また、着色やアントシアニン含量は追熟時の光環境にも影響を受けることが明らかとなり、追熟による着色増大程度が小さい熟度が進んだ果実でもUV-Bと赤色光の同時照射で照射面の着色が促進し、アントシアニン含量が高まる傾向とな

ることが明らかとなった。追熟中の光照射については効率的な照射方法として、より短時間の照射での効果、照射のタイミングおよび果面全体に着色させる方法の検討が今後必要である。

参考文献

- 赤木知裕ら 2011. 梅果実の紅色色素に関する研究. 農化講演集, 237.
- Arakawa, Osamu 1988. Photoregulation of anthocyanin synthesis in apple fruit under UV-B and red light. *Plant Cell Physiol.* 29, 1385-1389.
- Kataoka, Ikuo *et al.* 2003. Role of ultraviolet radiation in accumulation of anthocyanin in berries of 'Gros Colman' grapes (*Vitis vinifera* L.). *J. Japan. Soc. Hort. Sci.* 72,

1-6.

- 北村祐人ら 2018. ウメ'露茜'果実の大量追熟法およびそれに適した収穫時期簡易判定法の開発. 和歌山農林水研報 6, 37-50.
- 大江孝明ら 2012. 収穫後のウメ'南高'果実への光照射が紅色着色に及ぼす影響. 園学研 11(別)1, 75.
- 大江孝明ら 2013. ウメ'露茜'果実の熟度と着果条件がアントシアニンの蓄積およびその他の機能性成分含量に及ぼす影響. 園学研 12, 411-418.
- 大江孝明ら 2016. ウメ'露茜'果実の追熟条件がアントシアニンの蓄積とその他機能性成分含量に及ぼす影響. 園学研 15, 439-444.
- 大江孝明ら 2017. アントシアニン増量のための追熟に適したウメ'露茜'果実の収穫指標. 和歌山農林水研報 5, 91-98.
- 大江孝明ら 2021. アントシアニン含量の多いウメ'露茜'果実を供給する効率的な追熟体制の確立. 和歌山農林水研報 9, 印刷中.
- 八重垣英明ら 2012. ウメ新品種'露茜'. 果樹研報 13, 1-6.

統計データから

農業経営体数 (2020年農林業センサスから その2)

農林業センサスは全ての農林業の経営体を対象に5年に一度行われる調査で、2020年2月1日調査結果の概要が農林水産省から公表されている。

全国の農業経営体(耕地面積30a以上か、販売額が50万円以上の経営)は107万6千経営体で、5年前の2015年に比べ30万2千経営体(21.9%)が減少している。15年前の2005年の200万9千経営体のほぼ半分に近く減少している。

農業経営体のうち減少しているのは、個人経営体(103万7千経営体)で、5年前に比べ30万3千経営体(22.6%)減少した。

その一方、団体経営体(3万8千経営体)は1千経営体(2.6%)増加している。

団体経営体のうち法人経営体は3万1千経営体で、5年前に比べ4千経営体増加している。この結果、団体経営体に占める法人経営体の割合は80.1%となり、その法人経営体では、会社法人は2万経営体、農事組合法人は7千経営体となり、5年前に比べそれぞれ3千経営体、1千経営体増加している。

家族経営が大量に離農する傍ら、一部で経営の法人化・企業化が進んでいる。(K.O)

表 農業経営体数とその組織形態別の内訳

(単位:千経営体)

区分/年	農業経営体	増減率(%)	組織形態別					
			個人経営体	団体経営体	法人経営体	農事組合法人	会社法人	その他
2010	1,679		1,644	36	22	4	13	5
2015	1,377	△18.0	1,340	37	27	6	17	4
2020	1,076	△21.9	1,037	38	31	7	20	4